

## 義務教育課だより 7月号

先月半ば、昨年より1か月以上も遅れて、やっと梅雨入りしたと思ったのも束の間、6月28日には、四国地方の梅雨明けが発表されました。統計開始以来、最も早い梅雨明けであり、既に午前中から猛暑日となる日も出ています。各学校においては、子供の安全・安心を確保するため、コロナ対策に加え熱中症対策にも取り組んでいただいていることと思います。気象庁は、ラニーニャ現象が今夏前半まで続く可能性が高いとし、今月から9月は厳しい暑さになると予測しており、今後、水不足も懸念されます。一方、嬉しいニュースも届いています。今年は全国各地で夏祭りが復活し、それぞれの地域で準備が進んでいるようです。県内でも「うわじま牛鬼まつり」等、地域を代表する夏の祭典が復活し、出場に向けて、暑さに負けず練習に励む子供たちの姿も見られます。

## 令和4年度えひめっこピカイチコンテスト

令和2年度から始まったコンテスト形式の「えひめっこピカイチ大賞」は、今年で3年目になります。昨年度は、県内の公立小中学生から、延べ21,577人の応募がありました。各学校において、with コロナの学校教育スタンダードが確立しつつある今年度は、児童生徒の意欲及び主体性を高めるとともに、地域の魅力の再発見に資することを目的として、教科学習と関連した作品コンテストを、次の3部門で実施します。

### 【愛ある塗り絵部門】

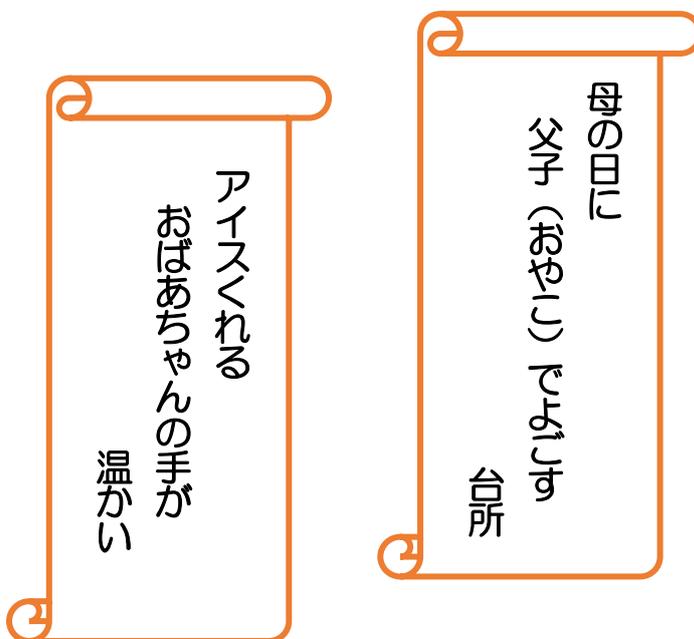
「愛ある塗り絵シリーズ」から好きなものを選び、着色したり絵を描き加えたりして、“ふるさと愛媛”を表現します。愛媛県の風景や特産品を題材とした塗り絵原画には、児童生徒の発想を生かせるよう、余白部分を設けています。





### 【愛ある川柳部門】

日常生活で起こったハプニングやお世話になっている人との心温まるエピソード、身近な人に伝えたい感謝の気持ちなどを五・七・五の川柳で表現します。



### 【愛ある情報活用部門】

1人1台端末等を用いて、プレゼンテーションソフトにより、地域の魅力をスライド1～3枚にまとめて紹介します。県教育委員会の重点取組事項の一つである「ICTの効果的な活用による学びの充実」を受け、この1人1台端末等を、文房具や教具と同様に、日常的に活用してもらいたいと考えています。

愛媛のことを もっと  
好きになってほしいケン!



本コンテストは、子供たちが、自分の興味のあるものに進んで挑戦し、体験を通して得た実感の伴った自分の思いや考えを、絵や文字で、直接言葉で、そしてICTを活用して表現できる絶好の機会となります。子供たちに紹介し、積極的に取り組むよう、働き掛けをお願いします。